

第 98 期

# 事業報告書

平成25年4月1日～平成26年3月31日

証券コード 6436



## Contents

株主の皆様へ	1
新中期経営計画	2
トップインタビュー	3
連結財務諸表（要旨）	5
トピックス	7
ネットワーク	9
会社概要	10
株式の状況・株主メモ	

株主の皆様には、平素より格別なご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。  
 当社は、創業以来「人と時間」、「人と環境」を企業テーマに掲げ、全事業活動の座標軸を顧客満足度におき、全社員がお客様の声を聞く「顧客第一主義」を基本方針としております。また、株主の皆様にとって魅力ある企業であるために企業価値（現在価値+将来価値）の最大化を図ることを経営の重点戦略としてまいりました。

平成23年4月よりスタートした第5次の中期経営計画の基本方針に基づき、新グローバル成長戦略のもと、市場・プロダクトのグローバル展開、総合提案ビジネスの拡大に取り組み、徹底的な顧客ニーズの掘り起こしに注力するとともに、原価低減、販管費抑制にも努めた結果、当期の連結業績は、売上高・利益ともに増収増益となりました。

期末配当金につきましては、配当の基本方針に基づき、株主の皆様のご支援にお応えするため、期初予定の1株当たり13円から4円増配し、1株当たり17円とさせていただきます。これにより、既に実施いたしました中間配当金1株当たり13円とあわせ、当期の年間配当金は1株当たり30円となります。

新年度の経営環境につきましては、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動の影響はあるものの、世界経済の回復や円安を背景に輸出の持ち直しが見込まれるなか、公共投資や設備投資も緩やかに増加するなど景気回復が継続するものと考えられます。

このような経営環境の中で、当社およびグループ各社は、平成26年4月よりスタートした3カ年の新中期経営計画において、「新たなステージへの挑戦－規模の拡大と成長ドライブの構築－」を経営コンセプトに掲げ、100年企業を目指して全社一丸となって重要課題に取り組んでまいり所存でございます。

株主の皆様におかれましては、何とぞ倍旧のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

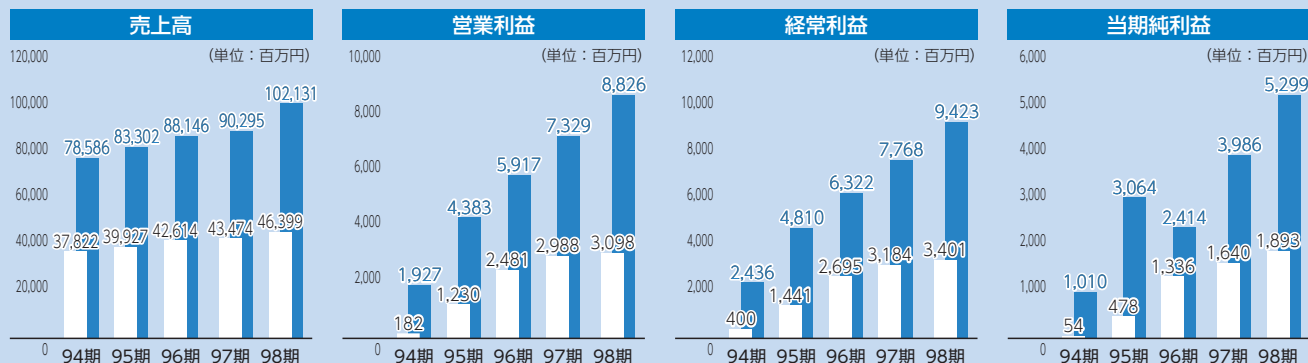
平成26年6月



代表取締役社長 中島 泉

## 財務ハイライト（連結）

■ 中間期（第2四半期） ■ 通期



### 基本方針

平成26年4月よりスタートした新中期経営計画は、100年企業を目指した「新たなステージへの挑戦」を経営コンセプトとして掲げ、次の4つの重要課題に取り組みまいります。

- (1) 企業規模の拡大
- (2) 経営効率の向上
- (3) 連結経営の強化
- (4) コーポレートガバナンスの進化

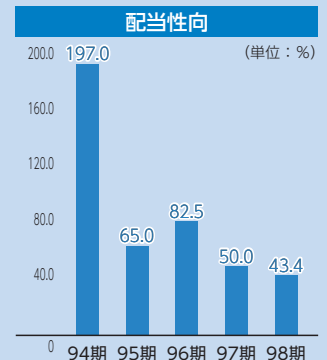
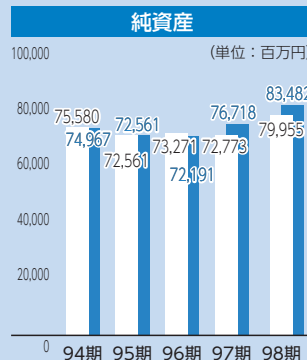
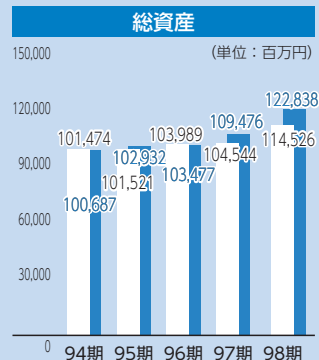
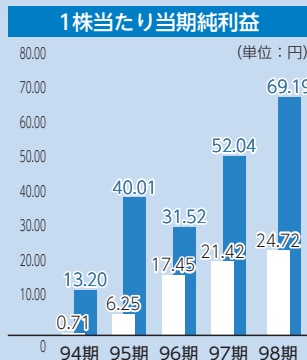
### 数値計画

本計画の最終年度である平成29年3月期に売上高1,300億円以上、営業利益130億円以上の業績達成を目指してまいります。



(単位：百万円)

	平成27年3月期		平成28年3月期		平成29年3月期	
	金額	前年比	金額	前年比	金額	前年比
売上高	110,000	7.7%	119,000	8.2%	130,000	9.2%
営業利益	9,100	3.1%	10,900	19.8%	13,000	19.3%
営業利益率	8.3%	—	9.2%	—	10.0%	—
経常利益	9,700	2.9%	11,600	19.6%	13,600	17.2%
当期純利益	6,300	18.9%	6,900	9.5%	8,300	20.3%



第98期事業報告書をお届けするにあたり、代表取締役社長 中島泉へのインタビューを通して当社の現状と今後の取り組みをご説明いたします。

**Q1** 当期の経営成績と主な成果についてお聞かせください。

**A1** 当期におけるわが国の経済は、中国経済の減速や新興国経済の成長鈍化など世界経済の不透明な状況はあるものの、政府の経済政策の効果もあって、公共投資が増加を続け、企業収益が改善するなか設備投資も持ち直しつつあり、また、雇用・所得環境の改善により個人消費も底堅く推移するなど、景気は緩やかな回復基調にあるものと考えられます。

このような状況下、平成26年3月期連結売上高は、1,021億31百万円（前期比13.1%増）となりました。事業部門別では、情報システムは、国内はハード・ソフトともに売上が伸び増収、海外も好調を維持し増収、全体では前期比18.9%増収となりました。パーキングシステムは、国内は大型システム物件の増加、駐車場運営受託事業の堅調な推移により増収、海外は為替の影響もあり増収となり、全体では前期比15.6%増収となりました。環境システムは、国内は大型システムが減収となったものの汎用集塵機が増収、海外は大型システム案件の増加等により増収、全体では前期比4.4%増収となりました。

利益につきましては、主に情報システムの増収効果により、営業利益は88億26百万円（前期比20.4%増）となり、また経常利益は94億23百万円（前期比21.3%増）、当期純利益は52億99百万円（前期比33.0%増）となりました。

**Q2** 平成26年3月期までの3ヵ年計画の結果と新たに策定した新中期経営計画の概要についてお聞かせください。

**A2** 平成23年4月よりスタートした3ヵ年計画においては、最終年度の平成26年3月期に売上高980億円、営業利益82億円を目指し、全社一丸となって取り組んでまいりました。その結果、公表計画を上回る売上高1,021億円、営業利益88億円を達成することができました。

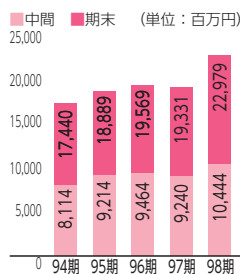
今年4月に策定した新中期経営計画は、100年企業を目指した「新たなステージへの挑戦」を経営コンセプトとして掲げ、「企業規模の拡大」、「経営効率の向上」、「連結経営の強化」、「コーポレートガバナンスの進化」の4つを重要課題といたしました。

「企業規模の拡大」は売上拡大と営業利益率10%の達成、「経営効率の向上」はROE（自己資本当期純利益率）10%を目指した収益力の向上、「連結経営の強化」は国内外グループ会社の成長による売上連単倍率10%の伸長をそれぞれ目指します。また、これらの課題達成のための基盤強化として、「コーポレートガバナンスの進化」を推進し、アマノグループ全体の内部統制環境の強化を行います。

これらの重要課題を実行し、本計画の最終年度である平成29年3月期に売上高1,300億円以上、営業利益130億円以上の業績達成を目指してまいります。

## 事業概況

### 情報システム

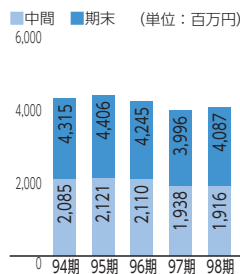


国内の実績は、前期に比べハードウェアは7億47百万円増収（14.2%増）、ソフトウェアは6億1.2百万円増収（20.8%増）、メンテ・サブライは2億32百万円増収（6.9%増）となりました。ハードウェアの増収は、新商品投入効果及び大型物件受注によるもので、ソフトウェアの増収は就業・給与・人事の3in1営業活動の強化によるものです。分野別には、就業システムは14億39百万円増収（18.2%増）、入室システムは1億18百万円減収（9.0%減）となりました。

海外の実績は、北米のアキュタイムシステムズ社は為替の影響もあり増収、欧州のホロススマート社は好調を維持し増収となり、海外全体では18億61百万円増収（前年同期比27.0%増）となりました。

以上の結果、当事業部門の売上高は229億79百万円（前年同期比18.9%増）となりました。

### 時間管理機器

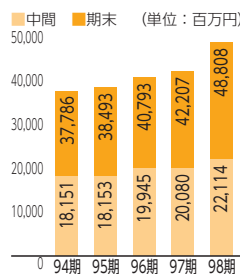


国内の実績は、消費増税前の消耗品等の駆け込み需要やネット・通販の売上が増加、輸出は減少も全体では20百万円増収（0.7%増）。

海外の実績は、為替の影響もあり、14百万円増収（前年同期比1.2%増）となりました。

以上の結果、当事業部門の売上高は40億87百万円（前年同期比2.3%増）となりました。

### パーキングシステム



### Q3 新中期経営計画の事業コンセプトについてお聞かせください。

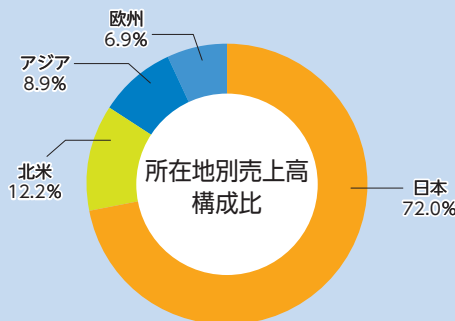
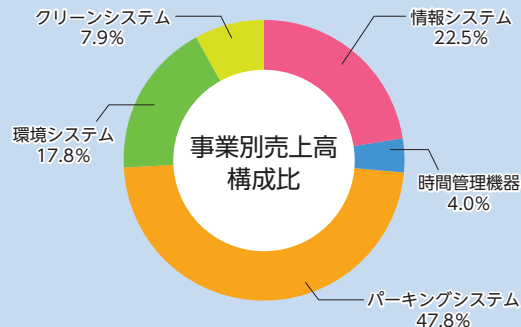
**A3** 国内では、情報システムは、中小市場には就業・給与・人事の3in1でメンタルヘルスケアシステムを加えた総合提案を強化し、ハード・ソフト・サービス・クラウドまでのトータルソリューションで市場の拡大を図ってまいります。また、中堅市場では、持分法適用関連会社のクレオ社との連携により財務会計市場に参入し、就業・人事・給与・会計のソフトウェアとコンサルティング営業の強化による「ミニERPベンダー」を目指した事業展開を進めてまいります。

パーキングシステムは、システム機器の機能・操作性の向上を図りつつ、大手駐車場管理会社との連携を一層強化するとともに、中小駐車場管理会社には駐車場データセンターを介した各種サービスや運営受託サービスを提供し、「パーキングファシリティ サービスプロバイダー」を目指してまいります。また、セキュリティゲートや有料道路、駐輪場などの施設に関する取り組みも強化拡充し、事業の拡大を図ってまいります。

環境システムは、国内では汎用機を中心とした需要の取り込みを強化するとともに、安定的な成長が見込まれる製薬・食品・化粧品業界での拡販を図ってまいります。また、産業機器メーカーとの提携などによるエンジニアリング力の強化と周辺装置を含めたトータル販売に取り組み、「グローバルエンジニアリング マルチベンダー」を目指してまいります。

グリーンシステムは、今後拡大が見込まれる市街地型ミニスーパーの出店や、コンビニエンスストアのイトインコーナーの拡大に対応すべく、安全装置付きポリッシャーや小型洗浄機の市場投入を図り、拡販に取り組んでまいります。また、清掃受託や美観維持も含めた総合提案を推進し、「トータルグリーンリネス サービスプロバイダー」を目指してまいります。

海外では、情報システムはフランスのホロスマート社、パーキングシステムは米国アマノマクギャン社、韓国アマノコア社が堅調に推移することが見込まれます。環境システムは日系企業へのエンジニアリング力、販売・サービス体制を強化し、現地生産の拡大によるコスト競争力の向上を図ってまいります。また、グリーンシステムにおいては米国における木材床研磨機器部門買収による業容拡大を目指してまいります。



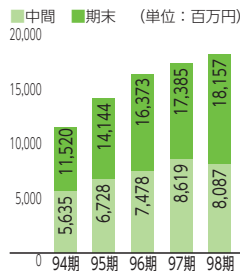
国内の実績は、大規模駐車場システムの売上が増加し23億40百万円増収(15.0%増)、メンテ・サプライは3億63百万円増収(4.2%増)となりました。

なお、グループ会社アマノマネジメントサービス株式会社による運営受託事業は順調に拡大しており、受託車室数は前期末比31,400台増(12.5%増)いたしました。

海外の実績は、北米のアノマクギャン社は現地通貨ベースでは減収となったものの為替の影響もあり増収、欧州はアジア・オセアニア市場向けシステム受注が拡大し増収、アジア地域は韓国が堅調に推移し増収となり、海外全体では29億92百万円増収(前年同期比29.5%増)となりました。

以上の結果、当事業部門の売上高は488億8百万円(前年同期比15.6%増)となりました。

### 環境システム

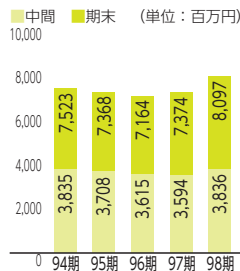


国内の実績は、当期前半まで続いた設備投資の抑制の影響を受け大型システムは、3億15百万円減収(5.6%減)となったものの、汎用集塵機は4億10百万円増収(7.7%増)、メンテ・サプライは2億33百万円減収(6.1%減)となりました。

海外の実績は、アジア市場全体では東南アジアを中心に増収、北米市場は大型システム案件が増加したことにより増収となり、海外全体では7億3百万円増収(前年同期比27.4%増)となりました。

以上の結果、当事業部門の売上高は181億57百万円(前年同期比4.4%増)となりました。

### グリーンシステム



国内の実績は、前期に比べ清掃機器は2億96百万円増収(15.4%増)、メンテ・サプライは6百万円増収(0.2%増)、清掃受託サービスは31百万円増収(2.1%増)となりました。

海外の実績は、北米は増収となり、3億84百万円増収(前年同期比21.8%増)となりました。

以上の結果、当事業部門の売上高は80億97百万円(前年同期比9.8%増)となりました。

### Point ① 流動資産

現金及び預金  
58億39百万円増加  
受取手形及び売掛金  
36億64百万円増加

### Point ④ 純資産

株主資本  
33億6百万円増加  
為替換算調整勘定  
38億59百万円増加

### Point ⑤ 売上高

情報システム及びパーキングシステムを中心に伸長し、売上高は1,021億31百万円と前年同期比13.1%の増収となりました。

### Point ⑥ 営業利益

販売費及び一般管理費は増加したものの、増収効果もあり、営業利益は88億26百万円と同20.4%の増益となりました。

### Point ⑦ 経常利益

増収効果に加え、為替差益等の計上により、経常利益は94億23百万円と同21.3%の増益となりました。

## 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	第97期 (H25.3.31)	第98期 (H26.3.31)		第97期 (H25.3.31)	第98期 (H26.3.31)
<b>資産の部</b>			<b>負債の部</b>		
① 流動資産	65,253	74,771	② 流動負債	25,104	28,976
固定資産	44,222	48,066	③ 固定負債	7,653	10,378
有形固定資産	22,985	24,244	負債合計	32,758	39,355
無形固定資産	8,481	10,355	<b>純資産の部</b>		
投資その他の資産	12,755	13,465	株主資本	83,472	86,778
資産合計	109,476	122,838	その他の包括利益累計額	△ 7,023	△ 3,718
			少数株主持分	268	422
			④ 純資産合計	76,718	83,482
			負債純資産合計	109,476	122,838

## 連結損益計算書

(単位：百万円)

	第97期 (H24.4.1~ H25.3.31)	第98期 (H25.4.1~ H26.3.31)		第97期 (H24.4.1~ H25.3.31)	第98期 (H25.4.1~ H26.3.31)
⑤ 売上高	90,295	102,131	特別利益	18	50
売上原価	50,527	57,840	特別損失	454	174
売上総利益	39,767	44,290	税金等調整前 当期純利益	7,332	9,299
販売費及び 一般管理費	32,438	35,464	法人税等	3,265	3,878
⑥ 営業利益	7,329	8,826	少数株主損益調整前 当期純利益	4,066	5,420
営業外収益	675	729	少数株主利益	80	121
営業外費用	236	132	⑧ 当期純利益	3,986	5,299
⑦ 経常利益	7,768	9,423			

**Point ② 流動負債**

未払法人税等  
11億28百万円増加  
電子記録債務  
9億16百万円増加  
その他（未払費用等）  
7億45百万円増加

**Point ③ 固定負債**

退職給付に係る負債  
41億58百万円増加  
長期借入金  
8億89百万円増加  
退職給付引当金  
26億70百万円減少

**Point ⑧ 当期純利益**

増収効果等に伴う経常増益により、当期純利益は52億99百万円と同33.0%の増益となりました。

**Point ⑨ 営業CF**

税金等調整前当期純利益  
92億99百万円  
減価償却費  
37億11百万円

**Point ⑩ 投資CF**

有形固定資産の取得による支出  
32億25百万円  
無形固定資産の取得による支出  
22億50百万円

**Point ⑪ 財務CF**

配当金の支払額  
19億91百万円  
セール・アンド・リースバックによる収入  
18億91百万円

**連結包括利益計算書**

(単位：百万円)

	第97期 (H24.4.1~ H25.3.31)	第98期 (H25.4.1~ H26.3.31)
少数株主損益調整前当期純利益	4,066	5,420
その他の包括利益合計	2,487	4,174
その他有価証券評価差額金	497	258
為替換算調整勘定	1,961	3,880
持分法適用会社に対する持分相当額	28	35
包括利益	6,554	9,594
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	6,435	9,417
少数株主に係る包括利益	118	177

**連結キャッシュ・フロー計算書**

(単位：百万円)

	第97期 (H24.4.1~ H25.3.31)	第98期 (H25.4.1~ H26.3.31)
⑨ 営業活動によるキャッシュ・フロー	7,979	11,035
⑩ 投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 6,220	△ 6,081
⑪ 財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,575	△ 780
現金及び現金同等物に係る換算差額	481	881
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	665	5,054
現金及び現金同等物の期首残高	25,921	26,587
非連結子会社との合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	32
現金及び現金同等物の期末残高	26,587	31,674

## 1. 情報システム

### 「メンタルヘルスケアシステム」新発売 勤怠管理をトータルにサポート！

2013年9月、中小規模市場向けメンタルヘルスケアシステムとして、問診ソフトウェア「ヘルスケアシステムわかば」と、ストレス測定装置「Lifescore Quick」を新発売しました。

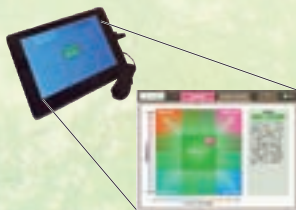
従業員のメンタルヘルスが社会的な問題となる中、長時間労働や仕事のストレスは、脳・心臓疾患等の健康障害と関連性があると言われており、労働安全衛生法では、長時間労働者に対して医師による面接指導を実施させ、健康障害を予防する義務があるとされています。

メンタルヘルスケアシステムと就業システムを連携することにより、就業システムにて時間外労働が多い対象者を迅速に把握し、問診ソフトウェアにて健康障害の早期発見を支援します。また、ストレス測定装置にて主観的な問診情報だけでなく、ストレス・リラックス度等が客観的な情報として測定できます。

今後も、就業・給与・人事にメンタルヘルスケアシステムを加えたトータルソリューション提案により、更なる業容拡大に取り組んでまいります。



問診ソフトウェア  
「ヘルスケアシステムわかば」



ストレス測定装置  
「Lifescore Quick」

# Information Systems

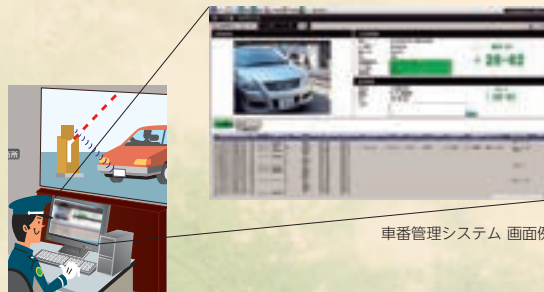
## 2. パーキングシステム

### 「車番管理システム」新発売 入退場する車のナンバーをデータ化！

工場や物流施設等における「車」と「人」の入退場を一元管理できる「車番管理システム」を2014年1月に新発売しました。

「車番管理システム」は、施設に入退場する車を撮影し、撮影画像からナンバープレートの情報を数値化し自動的に記録・蓄積します。蓄積した入退場履歴は、事故や盗難などが発生した際の車両番号や車両画像の確認をはじめ、各車両の滞留時間や、混雑する時間帯の分析による物流業務の改善にも効果を発揮します。また、従来のIDカードによる「人」の入退室管理と連携することにより、災害などの緊急事態発生時に、「どこに」「誰が」「どの車両が」構内に残っているかといった現場情報のスピーディーな把握も行えます。

これからも、永年培われた駐車場システムの経験と技術を応用し、事業継続計画（BCP）の推進をはじめ、「資産や人」の安全対策など、お客様の要望にお応えするソリューションを提供してまいります。



車番管理システム 画面例

# Parking Systems



### 3. 環境システム

#### 汎用集塵機ラインナップ拡充 新商品提案活動を本格化！

2013年10月、電気集塵式オイルミストコレクター「EM-eⅡ」を新発売しました。

金属加工や切削加工の現場では、労働災害・事故の防止に注力しており、ミストコレクターに対しても火災事故の抑止等、安全性を重視した要望が増加しています。「EM-eⅡ」は、目詰まりによる風量低下が生じにくい新構造荷電極（特許出願中）や、火災発生のリスクを低減する荷電方式、安定運転を実現する新制御方式を採用するなど、安全性を重視した設計に基づいて開発し、高い捕集性能も実現させました。

これまで、省エネ&省スペース型の汎用集塵機「PiFシリーズ」やサニタリー性を追求した食品・製薬工場向けステンレス製集塵機「SPシリーズ」など、商品ラインナップを拡充し、新商品の提案活動を本格的に進めてまいります。これからも、工場環境改善と品質向上、そして、お客様の要望にお応えできる商品の開発を進めてまいります。



電気集塵式オイルミストコレクター  
「EM-eⅡ」



SPシリーズ

PiFシリーズ

# Environmental Systems

### 4. クリーンシステム

#### 国内初 自律走行式の ロボット床面洗浄機を市場投入！

総合スーパーやショッピングモール等の商業施設や工場で幅広くご採用頂いている自動床面洗浄機「SE-500シリーズ」の次世代型モデルとして、2014年3月に自律走行式ロボット床面洗浄機「SE-500iX」を新発売しました。

自動運転のプログラミングには「ティーチング方式」を採用し、洗浄作業する経路ごとに、走行速度・水量・パッド圧・スキージーの上下動作などの操作を記憶させ、最大64パターンまでの洗浄作業を再現することができます。自動運転時には赤外線レーザー等の各種センサーにより障害物や段差を検知して安全走行を行うほか、音声案内装置やドライブレコーダーも標準装備し、安全面にも配慮した設計となっています。ロボット洗浄機は、熟練した作業者の操作を自動運転で再現し、作業者による操作レベルのムラが軽減できます。また、自動運転で余裕の出来た時間を他の作業に割り当てるなど、作業の効率化にも繋がります。今後、ロボット床面洗浄機を主力商品の一つに育成するべく、販売推進と更なる機能強化を図ってまいります。



自律走行式ロボット床面洗浄機  
「SE-500iX」



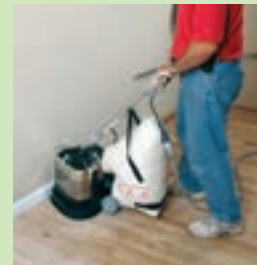
# Cleaning Systems

# Global Network



## ● TOPICS ● 米国におけるクリーンシステムの事業領域拡大！ 木材床研磨機器部門 買収

米国子会社のアマノパイオニアエクリプス社は、2014年3月に米国ミネソタ州に本拠を置くNilfisk-Advance, Inc.（以下、Nilfisk社）から木材床研磨機器部門の事業を譲受けました。Nilfisk社が持つ当該事業部門の顧客基盤に対して引き続き同製品を提供するとともに、従来のビニール・コンクリート床に加え木材床分野への新規参入を図り、ケミカル製品とのセット販売を強化するなど、米国におけるクリーンシステム事業の更なる業容拡大に努めてまいります。



# Domestic Network

## 支店・営業所

東北・北海道営業本部 札幌/盛岡/秋田/仙台/山形/郡山  
 関東営業本部 大宮/宇都宮/高崎/水戸/埼玉  
 東京営業本部 東京/品川/新宿/西東京/錦糸町/千葉/柏  
 信越営業部 長野/新潟/長岡/諏訪  
 神奈川・静岡営業本部 神奈川/横浜/厚木/藤沢/沼津/静岡/浜松  
 中部営業本部 名古屋/豊田/豊橋/四日市/岐阜  
 北陸営業部 金沢/富山  
 近畿営業本部 大阪/京都/神戸/東大阪/堺/姫路  
 中国・四国営業本部 広島/岡山/松江/山口/高松/松山/高知  
 九州営業本部 福岡/北九州/長崎/熊本/鹿児島/沖縄

## 国内グループ会社

アマノ マネジメントサービス株式会社  
 アマノ メンテナンス エンジニアリング株式会社  
 アマノ ビジネスソリューションズ株式会社  
 株式会社環境衛生研究所  
 アマノ武蔵電機株式会社  
 株式会社アマノエージェンシー

## 事業所

相模原事業所  
 細江事業所

社 名 アマノ株式会社 AMANO Corporation  
 本 社 所 在 地 〒222-8558  
 神奈川県横浜市港北区大豆戸町275番地  
 T E L 045-401-1441 (代表)  
 F A X 045-439-1120  
 ホームページ <http://www.amano.co.jp/>  
 創 業 1931年(昭和6年)11月3日  
 設 立 1945年(昭和20年)11月22日  
 資 本 金 182億3,958万円(平成26年3月31日現在)  
 従 業 員 数 2,113名(平成26年3月31日現在)  
 事 業 内 容 企画・設計・製造・販売・施工・メンテナンス

- 情報システム事業
- パーキングシステム事業
- 環境システム事業
- クリーンシステム事業
- アウトソーシング事業
- 時刻配信・認証サービス事業

代 表 取 締 役 会 長	春 田	薫 泉
代 表 取 締 役 社 長	中 島	直 佳
代 表 取 締 役 専 務	山 口	治 彦
取 締 役 兼 常 務 執 行 役 員	小 山	稔 弘
取 締 役 兼 常 務 執 行 役 員	白 石	弘 亨
取 締 役 兼 常 務 執 行 役 員	上 野	功 毅
取 締 役 兼 執 行 役 員	寺 崎	剛 樹
取 締 役 兼 執 行 役 員	赤 木	直 佳
取 締 役 (社 外)	岸 原	丈 秀
常 勤 監 査 役	藤 原	正 健
常 勤 監 査 役	中 藤	司 吾
監 査 役 (社 外)	佐 藤	文 邦
監 査 役 (社 外)	糸 長	守 弘
常 務 執 行 役 員	今 野	男 実
常 務 執 行 役 員	小 堀	谷 康
常 務 執 行 役 員	野 川	龍 雄
執 行 役 員	井 原	正 彦
執 行 役 員	金 子	明 眞
執 行 役 員	米 澤	
執 行 役 員	笹 谷	
執 行 役 員	新 保	
執 行 役 員	森 田	
執 行 役 員	田 明	

※取締役岸 勲氏は社外取締役です。

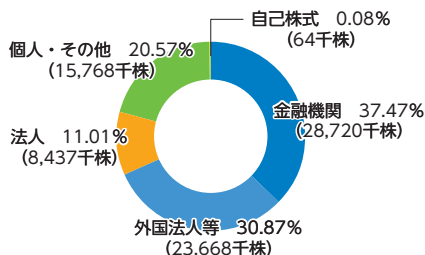
※監査役佐藤 佳志、糸長 丈秀の両氏は社外監査役です。

## 株式情報

(平成26年3月31日現在)

発行可能株式総数	185,476,000株
発行済株式の総数	76,657,829株
株主数	15,343名

## 所有者別株式分布状況



## 大株主の状況 (上位10名)

株主名	持株数	持株比率
公益財団法人天野工業技術研究所	千株 6,071	% 7.92
Northern Trust Co. (AVFC) Re Silchester International Investors International Value Equity	5,313	6.93
第一生命保険株式会社	4,000	5.22
株式会社みずほ銀行	3,824	4.99
日本生命保険相互会社	3,743	4.88
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	3,268	4.26
ノーザントラストカンパニー エイブイエフシー リユーエスタックス エグゼクティブ ペンションファンズ	3,104	4.05
東京海上日動火災保険株式会社	2,648	3.45
ノーザントラストカンパニー (エイブイエフシー) アカウント ノントリーディー	2,100	2.74
株式会社三菱東京UFJ銀行	2,100	2.74

(注) 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

## 株主メモ

決算期	毎年3月31日
定時株主総会	毎年6月
基準日	毎年3月31日 その他必要ある場合は、あらかじめ公告します。
期末配当金支払基準日	毎年3月31日
中間配当金支払基準日	毎年9月30日
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 電話 (0120) 232-711 (通話料無料)
公告掲載新聞	日本経済新聞

(ご注意)

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。

株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。

2. 特別口座に登録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。

3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

## Memo



当社ホームページでは、会社情報、投資家情報など、さまざまな情報を掲載しております。ぜひご覧ください。

<http://www.amano.co.jp/>

**アマノ株式会社**

本社/〒222-8558  
横浜市港北区大豆戸町275番地  
TEL. (045) 401-1441 (代表)  
FAX. (045) 439-1120

